

令和6年度 学校評価について

上野原市立上野原西中学校

1 今年度学校評価の基本的な考え方

- (1) 自己評価
 - 年度当初に学校長より示された「学校経営方針（指導の重点）」に基づき評価項目を設定する。（評価項目数：25）※昨年度と同数
 - 生徒及び保護者アンケートは昨年度の内容に検討を加え、自己評価の参考資料とする。
 - 自己評価の結果に基づき、改善策等を検討する。
- (2) 学校関係者評価
 - 学校運営協議会委員による学校関係者評価委員会を開催し、自己評価の結果及び改善策を基に学校関係者評価を実施する。
- (3) 評価結果の報告及び公表
 - 自己評価及び学校関係者評価の結果を基に報告書を作成し、上野原市教育委員会に報告する。
 - 保護者へアンケート結果の公表を行う（HP）。

2 今年度学校評価の経過

- (1) **保護者アンケート**の実施（11月）→**教職員への結果の提示**（12月）
→保護者への公表（3月）
- (2) **生徒アンケート**の実施（11月）→**教職員への結果の提示**（12月）
- (3) **自己評価（教職員）**の実施（12月）→**教職員への結果の提示**（1月）
- (4) **来年度の重点項目の検討**（1月）
- (5) 学校関係者評価の実施（2月）※第3回学校運営協議会
- (6) 学校評価報告書の提出（3月）

3 自己評価（教職員）の結果について

- (1) 回答はFormで実施した。
- (2) 「学校経営方針（指導の重点）」に基づき評価項目を設定した。（評価項目数：26←新項目3）
- (3) 自己評価の結果は、下の特徴が見られる。

□評価結果が比較的高い項目

- ⑮施設・設備の安全確保に努めている。
(今年度：3.6 昨年度：3.5)
- ⑳教育公務員としての自覚を持った行動（服務規律や時間を守る意識など）を心がけている。
(今年度：3.5 昨年度：3.7)
- ⑯スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、多角的・多面的な指導の充実を図ろうと努めている。
(今年度：3.4 昨年度：3.6)
- ⑭集団生活の安心や安全を脅かす行為やいじめに対しては、毅然とした態度で指導している。
(今年度：3.4 昨年度：3.4)
- ㉓教職員としての資質・能力の向上のために、学ぶ姿勢を持ち続けようとしている。
(今年度：3.4 昨年度：3.4)

□評価結果が比較的低い項目

- ㉒学区小学校や上野原高校との連携を図ろうと努めている。
(今年度：2.6 昨年度：2.6)
- ㉔日々の業務の中で、お互いに学び合う意識を持っている。（相手を尊重しつつアドバイスをすることや、アドバイスを受け入れ再考する柔軟さ）
(今年度：2.8 新項目)
- ⑰集団で生活することで身に付くことを考えさせ、「人間（品性）教育」を重視するために、品格・教養・礼節を意識させようとしている。
(今年度：2.8 新項目)
- ⑩運動やスポーツを推進し、自他の存在意義、体力の向上を図るよう努めている。
(今年度：2.9 昨年度：2.9)

1 確かな学力の育成

- ①「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくりやわかりやすい授業づくりに努めている。
- ②学習指導要領を踏まえ、系統的な教育課程の実施と評価・授業改善に努めている。

①の「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくりについては、これまでに取り組んできており定着している。よりよい授業を提供しようという意識の高まりがもてている。ただし他教科とのつながりや、宿題や課題（家庭学習）と授業を有機的に結びつけ、学習意欲の向上や基礎基本の習得に効果的につなげることは今年度も課題が残る。

また、自分にはどのような力が必要なのか、そもそもなぜ学ぶのか、というような学ぶことの意義を考えさせたい。まさに「主体的な学び」が必要である。与えられるままに漠然と学ぶのではなく、自分自身に必要な学びであることを考えさせたい。自分自身の弱点を自覚したり、それを克服するための自主的な家庭学習への取組が成立したりすると考える。「必要な学び」を「重点的かつ効果的に行う」ように指導することで、確かな学力を育成することができる。

基礎基本は丁寧に、確実に。その上で「個別最適な学び」「協働的な学び」を実践する場面を設ける。単元によっては発展的な課題に取り組ませたり、自分で課題を見つけさせたり、生徒同士で試行錯誤させたり。その際には、手を出しすぎず、かといってただ手放すのではなく、見通しを持たせつつ、余裕を持って試行錯誤させるような授業展開も考えられる。生徒の授業の理解度を把握し、基礎・基本も身につけさせる事も必要となるので、私たち自身にその覚悟が必要であろう。

また、一人一台端末を生徒の実態に即し授業の中で効果的に活用することは充分されているので、今後もICT機器を使うことによって「つきたい力」がついているか確認しながら進めたい。

2 豊かな心の育成

- ③道徳の時間を軸として、すべての教育活動を通して道徳教育を推進し、豊かな人間性を育むことに努めている。
- ④キャリア教育の推進に努め、社会的・職業的に自立するための資質や能力の基盤を培うよう努めている。
- ⑤合唱への取組を継承・発展させようとして努めている。
- ⑥委員会活動・係活動・当番活動を充実させ、自己有用感を育むよう努めている。
- ⑦コミュニケーションの基本である「あいさつ」を大切にするとともに、さらに魅力ある学校づくりをめざすよう努めている。
- ⑧情報モラル教育をすすめて、インターネット上のトラブル回避ができる力を身につけさせようとして努めている。

③道徳の授業の実践については努めているが、豊かな人間性を育むこととして生徒達の生活に現れているとはいいいにくい。子供たちは授業は授業であり、どう行動すべきか、何が大切かはわかっていない。しかし、なかなか、自身の日々の生活と結びつけて考えられていない。あいさつなどはその典型かもしれない。生徒達は「あいさつをしている」という意識だが、「あいさつ」は自分から、相手の目を見て、相手に届かなければいけないのと同じだということを知らない。そこに教職員との差異があるのかもしれない。道徳教育は授業が要ではあるが「すべての教育活動を通して」行うものである。日常の些細なことから、豊かな人間性を育むことを意識していきたい。そのためには私たち自身が、豊かな人間性を身につけた大人でありたい。

④キャリア教育については、CS（ひなの会）の協力もあり、職場体験については「経験」を積む機会を持つことができた。見学にとどまる場合もあったが、今後はさらに地域を担う人材を地域とともに育てるという考え方を丁寧に伝え、地域住民や特に企業と連携・協働して取り組みさらに広げたり深めたりしたい。キャリア学習についての出前授業を受ける場合などには、もう少し実態に即した、生徒の興味関心を得られる内容で実施したい。

キャリア教育については「職業」よりも「働く」という方に重心を置き、何のために「働く」のか、「生きていく・生活していく」ためには何が必要なのか、ライフプランや税・保険なども含めた金銭教育や権利と義務などの指導も今後必要なのではないかと思う。まずは自分は「どのように生きていくのか」を広い視野で捉えさせ、そのために何が必要なのかを考えさせる。職業や働くことばかりにとらわれ過ぎず「自分の人生を生きる」ために必要な資質・能力を培いたい。

⑤の合唱への取組は、皆が集う学校だからこそ大事にしたいところである。合唱活動を通して生徒達に味わわせたい思いがある。生徒達に等しく味わわせるためには、教職員も思いを一つにして「発展」させることに心を向けたい。それぞれが工夫できることを考え、実際に取り組みながら全校の意識を高め、子供たちの心の成長につなげたい。

3 健康でたくましい体の育成

- ⑨規則正しい生活習慣の確立と健康を自ら管理する力を身につけさせるよう努めている。
- ⑩運動やスポーツを推進し、自他の存在意義、体力の向上を図るよう努めている。
- ⑪保健・衛生・健康管理に関わる意識の向上を図るよう努めている。（コロナ・インフルエンザ対策など）

前項の「生きていく・生活していく」ための前提として「健康」は欠かせない。子供たちにはその必要性が実感できていないが、いまこそ体を作る時期であり、正しい健康の知識を身につけるときであると思う。規則正しい生活習慣は「習慣」であるから、毎日どのくらいの時間を何に（ゲームや動画視聴などにどのくらい）使っているのか振り返らせることも必要である。

体作りも体育の授業だけでは追いつかない。外遊びの時間が減り、**体を動かす機会のない子供たち**にとっては、**部活動の時間も登下校で歩く時間も貴重**である。保護者にもそのことを伝えつつ、**部活動の時間を確保しながら徒歩で下校する場合の安全性も考え、日課表の時間の見直しをしていきたい**。（授業時間は50分のまま、部活動の時間も現在と同じまま、通年で毎日25分下校時間を早められる案があるので、来年度の実施を目指し、先生方の理解を得ながら、R6年度3学期～R7年度中には試行したい。）

今後も委員会活動や保健だより・給食だよりなどで、健康についての発信をしながら、**健康を自ら管理する力を身につけさせ、自分の体（と心）を自分でコントロールしていけるような指導**に継続して取り組んでいく必要がある。

4 生徒指導の充実と生徒の居場所づくり

- ⑫生徒指導を充実させ、自らの意思で判断し、責任を持って行動できる力を身につけさせようと努めている。
- ⑬すべての教育活動を通して、生徒の規範意識の向上を図ろうと努めている。
- ⑭集団生活の安心や安全を脅かす行為に対しては、毅然とした態度で指導している。
- ⑮スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、多面的・多角的な指導の充実を図ろうと努めている。
- ⑯朝の会、帰りの会、清掃、給食などで師弟同行を徹底し、生徒理解に努めている。
- ⑰集団で生活することで身に付くことを考えさせ、「人間（品性）教育」を重視するために、品格・教養・礼節を意識させようと努めている。

⑫**自らの意思で判断し、責任を持って行動することには課題がある。言われるがままに行動することが多く、自分で考え判断して行動しているとは言いがたい。「知恵（正しく処理していく能力）」を働かせ「知性（考え判断する能力）」をもとに行動させたい。**また、⑬規範意識の向上も同様に、**全教職員が同一步調で取り組む必要がある。「これでよし」とすれば、そこで止まってしまう。⑰の「品性（他人に不快感を与えない立ち居振る舞い）」を考えたときに、現在の生徒達の状況が「これでよし」とは到底思えない。意識して「品性教育」に取り組みたい。**

⑮関係機関との連携は、丁寧に行うことができている。ケース会議も頻繁に実施しており、子育て保健課（保健師、児童家庭相談員）、都留児童相談所、子ども家庭センター花みずき、上野原署、小学校、幼稚園、私立中学校、S W、上野原市教育相談室が集まって情報交換をしたり支援の仕方を話しあったり、会の他にも必要に応じて連絡を取り合ったりしている。そうしなければとても学校だけでは手に負えないのが実情でもある。

ただスクールカウンセラーが今年度新しくなったこともあるので、生徒指導部会当に出席してもらい、本校の課題や支援の方向性についてアドバイスをもらったり、家庭への対応への助言を受けたりしていきたい。

また、上野原市教育相談室にも積極的に情報を伝え、学校だけでは不足する部分を補ってもらえるようお願いしたい。

生徒本人、保護者とのコミュニケーションを大切にし、家庭と同一步調で取り組んでいく姿勢を示すことを大事にしたい。

5 安心・安全な教育環境の整備

- ⑱施設・設備の安全確保（とともに交通安全や防災への指導）に努めている。
- ⑲自助・共助の実践力を身につけられるように努めている。

今年度は教職員一人一人に、**防災に関するマニュアルワンペーパー**を配付して、誰でもいざという時に動けるように工夫を行った。また、転倒防止・転落防止の措置をとったり、夏の体育の授業で、プールにバックバブルマスク（用手人工呼吸）を持参したりした。さらに、上野原市危機管理室と会議の場が持たれ、避難所を運営するにあたっての確認を行ったり、市で防犯カメラを4台設置したりした。それらに伴い、マニュアルも見直すことができた。

生徒達は自然災害の恐ろしさはわかっているが、あくまでも頭の中でのことなので、**体を使って訓練することを大切に**していきたい。昨年度は取り組めなかった**予告なしの避難訓練を実施し、さらに部活動時間中にも行う予定である。訓練だからこそうまくいかなくていい（うまく行かない方がいい）。失敗や不足から生徒も教職員も学ぶことが、実効性のある力になる。**

来年度は、地域の防災訓練に運営側として生徒を参加させてみたい。

6 保護者・地域・隣接する学校との連携

- ⑳教育活動について各種通信やホームページなどで情報発信を積極的に行うように努めている。

- ②①地域と学校との交流を深めようと努めている。
- ②②学区内小学校や上野原高校との連携を図ろうと努めている。

HP、学校だよりの回覧板での配布など、地域への発信を積極的に行っている。学級・学年だよりは、必要なときに必要なことだけ伝えられれば良いと思う。負担にならない程度に必要なに応じて発行できれば充分である。

②②の学区の小学校・高校との交流については、自己評価は低い。子ども同士の目に見える交流や連携だけでなく、**情報や必要な物のやりとり**などは行えている。小さな連携かもしれないが、**少子化が進む中、お互いに助け合えることもたくさんある。小さな連携を重ねる中でお互いを知り合うこと**を大切にしたい。

7 教師の資質・能力の向上

- ②③教職員としての資質・能力の向上のために、学ぶ姿勢を持ち続けようとしている。
- ②④教育公務員としての自覚を持った行動（服務規律や時間を守る意識など）を心がけている。
- ②⑤ICT機器を有効に活用した授業づくり及び生徒のICT活用能力の向上を図っている。
- ②⑥日々の業務の中で、お互いに学び合う意識を持っている。（相手を尊重しつつアドバイスをすることや、アドバイスを受け入れ再考する柔軟さ）

②③教育公務員特例法ならびに教職免許法の一部改正に伴い、**個々の教員が自らの専門性を高めるための研修について、さらなる意識改革を図る必要がある。自分にはどのような研修が必要なのか、どんな力を身につけたいのか**を考えたうえで、**積極的な研修への参加**を考えていきたい。**個々のステージに応じた研修を系統的に、かつ段階的に、定期的・継続的に受講していくシステムを確立**する必要もある。「研修」と名前がつかなくても、意識するだけで**日々の業務の中から、共に働く仲間の姿や考え方から学ぶことはたくさんあることも心に留めたい。**

また、これまでに様々な経験を積んだ教職員は、その経験を継承するためにも、OJT（職場での職業訓練）をすすめたり、メンター方式（経験の浅いものや中堅、ベテランなどが互いに学び合う）を心がけたりしたい。

その際気をつけたいのは、**職場の雰囲気と心理的安全性**である。相手の立場に立って考えを巡らせながら、お互いの考え方を尊重し合い言葉を選んでアドバイスを。また、アドバイスを
する際には、否定するだけでないよう、代替え案や改善策などを示しつつ建設的な意見を心がける。**生徒の成長をともに喜び合える働く仲間として、気づき、互いを補完し、助け合える教職員集団でありたい。**

8 本校の「働き方改革、業務改善」の取り組みに関し、日常業務や部活動等を踏まえての考え・意見等

働き方改革、業務改善を意識しながら進めてきてはいるが、業務量はなかなか減ることはない。分掌のデータなどはしっかり引き継ぎ、工夫をしながら業務改善を図りたい。

部活動については来年度には2つの部活動を削減する予定である。一方で活動時間についてはただ単に時間を短くしたり、日数を減らせばよいというものでもないだろう。地域連携がまだまだ進みそうにない中で、現状は学校部活動として実施している。技術面だけでなく**生徒指導の面も持つのが部活動**であり、そこでの指導は学校生活の中でも大きな部分を占める。メリハリをつけて効果的に活動を行い、**生徒の成長を考えた部活動指導**としたい。

そのためにも3の項目であげた**部活動の時間を確保しながら徒歩で下校する場合の安全性も考えた、日課表の時間の見直し**を行っていききたい。この案では、授業時間は50分そのまま、部活動の時間も現在と同じまま、通年で毎日25分下校時間を早められる。先生方の理解を得ながら、R6年度3学期～R7年度中には**教材研究の時間を確保**していくために積極的に試してみたい。

働き方改革の根本的な目的の一つに「**子どもと向き合う時間の確保**」があげられている。教職員の負担軽減は大切にしたいが、**私達が教員として働いていることの根源は、やはり子供たちの成長を喜ばしいものとして感じるからだ**と思う。であるならば、**何ができるか、どうすればよいのか知恵を絞りたい。**

9 生徒指導提要の改定に関わり、生徒や保護者の意見を反映した校則の見直しや、性的マイノリティの理解に伴う制服の見直し等についての考え・意見

校則の見直しは必要だと思う。そのためにもまず教職員が意見を出し合い、見通しを持ちたい。「なぜ必要なのか」という根本を忘れることなく、この先も見据えながら取り組んでいく必要がある。「**なぜ**」が「**なるほど**」になるような見直しが望まれる。

10 その他、学校運営全般における改善策・意見等

本校は教職員の数が少ない。少ないから一人一人に任される業務も多い。負担感もある。無理をしている部分もある。中には、学校以外が担うべき業務もあるが、任せる先が見つからない。子供たちの「マナー」「しつけ」に関わる部分は家庭に委ねたい。家庭以外にも行政に、地域に、企業に、お願いできることはないか、と考えるがなかなか難しい。

であるならば、だからこそ教職員がお互いに声を掛け合い情報交換し、コミュニケーションをとりながら取り組んでいくことが重要になる。**どのようなことでも話し合える職場の雰囲気（心理的安全性）を大切にしたい。**そのためには、**共通認識と必要な統一すべき事項などの確認**が大事だろう。そうしないと手間暇がかかり、結局一人でした方が早い、确实だ、ということになりかねない。特に本校だけでなく全国的な課題でもある**特別支援教育や不登校の課題は、「チーム学校」で取り組まなければ成り立たない。年度が変わりメンバーが替わったら全く対応できない、というわけには行かないからだ。**

また、今後も変化し続けるであろう社会を生きぬく力（困難にぶつかっても試行錯誤しながら工夫して乗り越えられるしなやかさ・たくましさ）を生徒たちに身につけさせたい。そのために、**私達一人一人が、何ができるか、どうすべきかを真摯に考え、言葉を交わし、他者の意見をしっかりと受け取れ柔軟に対応していける教職員集団でありたい。**

4 生徒アンケートの結果について

- (1) 回答はFormで実施した。
- (2) アンケートは昨年度の内容を一部加除修正して実施した。（質問数：22）
- (3) アンケート回答結果には、以下の傾向が見られた。

□肯定的な回答の数値が比較的高い質問項目は以下の内容である。

Q18「学校の決まりや約束事をしっかり守っていますか。」
(**今年度：98%** 昨年度：98.8%) 【しっかり守っている・守っている】

Q2「クラスや学年に、仲の良い友達がいいますか。」
(**今年度：95.4%** 昨年度：95.7%) 【たくさんいる・いる】

Q19「学校での清掃活動を丁寧に行っていますか。」
(**今年度：94.1%** 昨年度：97%) 【丁寧にできている・できている】

Q4「自分のクラスを良いクラスだと思いますか。」
(**今年度：92.8%** 昨年度：84.4%) 【とても思う・思う】

Q13「自分や家族、友達の健康管理に気を配っていますか。」
(**今年度：92.8%** 昨年度：92.2%) 【よく配っている・配っている】

□好ましくない回答の数値が比較的高い質問項目は以下の内容である。

Q11「宿題の他にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）をしていますか。」
(**今年度：45.7%** 昨年度：41.5%) 【あまりしていない、していない】

Q14「携帯やスマホ、メールやSNS、ゲーム、動画視聴などを良くしていますか。」
(R6～動画視聴を追加)
(**今年度：94.1%** 昨年度：92.1%)
【よくしている（ほぼ毎日1時間以上）79.7%、
している（ほぼ毎日1時間以下）14.4%】

□生徒アンケートの結果、生徒用記述より

ほとんどの生徒が**学校のきまりや約束ごと**をしっかりと守って**清掃活動**を丁寧に行っていると回答している。これは昨年度も同様であった。また、**クラスや学年に仲の良い友達があり、自分のクラスを良いクラスだと思っている**。学校生活を安心して送れており、学校が居心地のよい場所になっているのではないかとと思われる。ただ、Q18きまり・約束事については【しっかり守っている】だけでなく【守っている】も、Q19清掃については【丁寧にできている】だけでなく【できている】も数値に含まれており、**生徒自身のハードルは低い。時間いっぱい隅々まで行っているか、きれいにしようと自分ですべきことを判断しながら行っているか**といえそうではないし、**ロッカー・机の中の整理整頓や持ち物の管理もいい加減であるので、基本的な生活習慣に**

ついてさらに指導をしたいと思う。

否定的な回答の数値が比較的高いものとして、引き続き「宿題（課題）の他にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）をしていますか。」という項目があげられる。家庭学習については、塾に通うなどして学習する生徒は多いが、どの生徒も自主的な家庭学習時間が少ない。塾に通ってれば、それで学習したつもりになっている生徒もいる。「何のために学ぶのか」を考えさせたり、「学ぶことの必要性」を自覚させたりした上で、自己の弱点を確認させ、その克服のために自ら家庭学習に取り組むよう工夫していきたい。

また、課題が感じられる項目としては、相変わらず Q 1 4 「携帯やスマホ、メールやSNS、ゲーム、動画視聴などをよくしていますか。」の項目がある。回答は【よくしている（ほぼ毎日1時間以上）】または【している（ほぼ毎日1時間以上）】で今年度：94.1%となっている。昨年度：92.1%とほぼ変わりがないが、今年度は「動画視聴」を追加したため多少多くなったかもしれない。ただ、【よくしている（ほぼ毎日1時間以上）】が79.7%であることから、ほとんどの生徒が多くの時間を携帯やスマホ、ゲームやPCなどの画面と向き合うことに使っていることがわかる。会話の中から「テストの後や休日などは5～6時間」中には「夜通し」などという声を聞くこともある。使い方に見直しが必要なのは間違いがない。携帯やスマホ、メールやSNS動画視聴については、何となくだらだらと使用している時間があるのではないかと、手にしていないと不安になるような依存症の領域まで達していないか、学校でも指導をしていくが、携帯やスマホを持っている以上、中学生ともなれば自己管理になる。保護者がどんなに規制しても、本人の自覚と自己管理能力が必要だと思われる。ゲームや動画視聴についても同様に、自分の限られた時間を何のためにどのように使うかを考えさせる必要がある。

西中の魅力については、学年に関係なく生徒同士が仲がよいことや学校全体の雰囲気がいよこをあげる生徒が今年度も引き続き多い。安全安心な学校であり、生徒一人一人の居場所が確保されていることの表れであるように感じる。

どのような学校にしたいかという質問に対しては、前向きな意見が多く、より良い学校・学校生活を目指していきたいという気持ちがうかがえる。ルールやマナー規則を守り、自分たちで場に合った言動ができる、地域の方にも積極的にあいさつできる、などをあげる生徒もいた。また、校則については見直しの必要性をあげる生徒も見られた。

要望としては、施設設備の安全について、実効性のある避難訓練、通学路の安全、給食の改善などが多かった。安全安心の部分については、今後も丁寧に対応し見直しや改善を図っていくと同時に、生徒自身にも自分の身を自分で守る意識を高められるよう指導をしていきたい。

5 保護者アンケートの結果について

- (1) 回答はFormで実施した。
- (2) アンケートは昨年度の内容を一部加除修正して実施した。（質問数：18）
- (3) アンケート回答結果には、以下の傾向が見られた。

☐ 肯定的な回答の数値が比較的高い質問項目は以下の内容である。

※上位2つは昨年度と同じ項目で同じ順番

Q 4 「お子さんは、学校のきまりを守っていると思いますか。」

（今年度：93.8% 昨年度：93.8%） 【とても思う、思う】

Q 1 3 「お子さんは、朝食を食べて登校していますか。」

（今年度：92.8% 昨年度：92.6%） 【いつも食べている、だいたい食べている】

Q 1 8 「お子さんは、家庭や地域で挨拶をしっかりとっていると思いますか。」

（今年度：92.8% 昨年度：87.4%） 【とても思う、思う】

☐ 肯定的な回答数値の増減で、+数値の大きかったもの

Q 1 7 「お子さんは、困ったことがあった時に、相談できる友達がいると思いますか。」

（今年度：83.5% 昨年度：75% +8.5%） 【たくさんいると思う、いると思う】

Q 1 0 「学校はICT機器の活用及び子どもたちのICT活用能力の向上に努めていると

思いますか。」

(今年度：84.4% 昨年度：78.1% **+6.3%**) 【とても思う、思う】

Q18「お子さんは、家庭や地域で挨拶をしっかりとっていると思いますか。」

(今年度：92.8% 昨年度：87.4% **+5.4%**) 【とても思う、思う】

□数値が大きく課題が感じられる項目

Q16「**お子さんは、家庭で、携帯やスマホ、メールやSNS、ゲーム、動画視聴などをよくしていますか。**」(R6～動画視聴を追加)

(今年度：98.9% 昨年度：89.4%)

【よくしている(ほぼ毎日1時間以上) 83.3%、
している(ほぼ毎日1時間以下) 15.6%】

※ちなみに「時々している」と回答したのは1名、「していない」は0名

□否定的な回答の数値が比較的高い質問項目は以下の内容である。

Q15「**お子さんは宿題の他にも家庭学習(塾や家庭教師は除く)をしていると思いますか。**」

(今年度：60.4% 昨年度：61.4%) 【あまりしていない、していない】

Q6「**お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。**」

(今年度：40.3% 昨年度：23.4%) 【あまり思わない、思わない】

□保護者アンケートの結果、保護者用記述より

昨年度までと同様に、きまりを守ることや朝食を食べること、あいさつなど、生徒の基本的な生活習慣に関して肯定的な回答が多い。また、Q17「お子さんは、困ったことがあった時に、相談できる友達がいると思いますか。」の数値が増えているのも、生徒の回答にあるように、**生徒自身がクラスや学年に仲の良い友達があり、自分のクラスを良いクラスだと思っており、学校生活を安心して送り、学校が居心地のよい場所になっている**からではないかと思われる。挨拶の項目が高いが、生徒・保護者ともに教職員との差異があり、**心のこもった挨拶**というものの受け止め方が違うのではないかと思われる。**挨拶の質の向上**に取り組んでいきたい。

一方、数値が大きく課題が感じられる項目は「**家庭で、携帯やスマホ、メールやSNS、ゲーム、動画視聴などをよくしていますか。**」という項目である。「毎日1時間以上」が83.3%、「時々している」は1名という回答結果を保護者はどう受け止めているのか。良くないと感じてはいても、使い方の約束を守らせたり、時間の管理をしたりするのは難しいのかもしれない。学校でできることは、自分の大切な時間を何のためにどのように使っていくのかという指導になるのではないだろうか。

否定的な回答の数値が比較的高いものとしては、生徒の回答にもある**家庭学習**の項目がこの数年続いて挙がっている。**時間ももちろん必要だが、家庭学習の内容にも目を向け、「そうか」「なるほど」「わかった」と納得できる時間を確保することが必要**ではないかと思う。それが授業の内容理解にもつながるからである。また、私たち教諭についても保護者・生徒アンケートの結果に於いて「授業の内容理解に課題がある」事について真摯に受け止め、指導方法についても改善を重ねて、家庭学習と指導方法の改善の両輪で進めて行くことも重要である。

西中の魅力については、これも生徒と同様に**生徒同士の仲の良さ**が上がっている。生徒のまじめさや和気藹々とした雰囲気、教職員の指導などもあげられていた。一方で、「なかなか学校の様子を知る機会がないのでわからない」というような回答も見られた。**今後も家庭と連絡を密に取りながら、同一歩調で指導や支援をしていきたい。**

地域の学校としてどのような願いがあるか、という質問に対しては、**通学路の安全安心、特に暗くなってからの下校が心配であること、暑さ対策、校則の見直し、給食の改善**などが要望された。暗くなってからの下校の心配については、**日課表の見直しを進める**必要があると感じる。

今後さらに良い学校づくりを目指して努力していくことを保護者にも理解してもらい、保護者ともに**試行錯誤をしながら一つ一つできることに取り組んでいきたい。子供たちのよりよい未来に向けて学校教育の充実を図りたい。**

6 学校関係者評価委員会

(1) 日 時 令和7年2月21日(金) 午後2時00分～(1時30分～授業参観)

(2) 場 所 上野原西中学校会議室

(3) 参加者 学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)

上條武雄会長

小俣齊委員

上條政教委員

岡部泰夫委員

志村恵治委員

小笠原宏委員

林滋委員

梶原清宏委員

花園美樹委員

森卓弥委員

後藤由紀委員

小俣信喜委員

(4) 話し合われた主な内容(「学校評価」自己評価・生徒及び保護者アンケート結果をもとに)

委員：携帯スマホの使用時間過多について。「1時間以上使用している」という質問になっているが、実態はどのくらい把握しているか。タブレット端末も含め、狭い画面を長時間見ること、学力が向上しないという調査結果もある。海外の教育先進国では紙に戻そうという動きもあるくらいだと聞いている。(西中生徒が)家庭学習に取り組めていないという課題があることを心配している。小学生のうちから対応していかないと中学校で急には難しいのではないかと。

学校：実態把握はしていないので一度調査をしてみることも検討したい。スマホばかりで、TVすら見ない生徒が多い。TVのニュースも見ないのでガザの問題すら知らない生徒もいる。

委員：学力もだが視力も心配である。

委員：育児にスマホを使うこともあるようなので、幼児のスマホを見る時間も課題であろう。

委員：教職員の人手不足の問題に関して、テストの見直しが考えられているようだが、何のためにテストをするのか、身につけたい力が身につけているかを見るという目的を考え、テストのために問題を作ることがないよう、見直しを進めると良いと思う。

委員：有給休暇は取れているのか。実情を考えると、公務員でも教職員は特別なものかもしれないが、何のために有給休暇があるのか国や県や市に考えてもらい、適切にとれる環境作りを進めてほしい。休暇が取れない先生が多い現状で、いい教育ができるのか非常に心配である。

学校：教職員は授業を持っているので休みを取るのが難しい。有給休暇を取るのは、病気の時に休むのと5日間の夏休みくらいである。リフレッシュのために休めるようになるといい。少しずつだが意識は変わってきているように感じる。

委員：勤務時間の平均値はとっていないか。(資料である)R5、R6の月ごとの勤務超過の表を見ると、減ってきている月もあるが増加している月は何がそうなる原因なのか、確認する必要があるのではないかと。

学校：繁忙期もあるので、月ごとにとっており、平均値は出していない。先日、校内研で学習会を行うなどして、変えられるところを変えようという意識がもっている。

委員：日程表の見直しを進めており、試行をするということだが、具体的な見直し時間を教えてほしい。

学校：授業時間(50分)と部活動の活動時間は変わらず、朝の会、休み時間、清掃への移動時間、清掃時間、帰りの会の時間をそれぞれ5分ずつ削ることで、25分下校時間を早める日課表を、来週から施行します。

委員：SCの活用状況はどのくらいか。

学校：年間28回。生徒のうち1年生は全員面談している。保護者、教職員も利用している。

委員：先生方も年間1回は利用するなど、計画的な面談を心がけ、十分な活用をしてほしい。

委員：働き方改革にかかわって、「学校外が担うべき業務」などについて具体的にどうしていくかを、CSで今後議論していくべきではないか。先生方がしなくて済むことを実行に移せるように、やはり外から支えていくのがCSの役割だと思う。来年はさらに進めていきたい。

7 来年度に向けて

1.「本校の強み」

真面目で、学習に意欲的な生徒が多い。生活全般にわたり、落ち着いており、生徒と教師の距離が近く生徒が話しやすい環境があるため、教師の指示が通りやすい。本校の教師は子どもたちを大切に思っており、子どもたちのことを考えて指導・支援している。だからこそ教師の声かけで生徒は変化をしたり、前向きに頑張れたりする。課題の一つでもあるあいさつや掃除、身だしなみについては、全教職員で同じように声を掛けながら質を高めていきたい。これまでも教職員同士で打ち合わせや情報交換ができていたが、何気ない日常の一コマこそ大切にしたい。

また保護者は、特に学習について関心が高い。あわせて地域も協力的で、学校の方針を温かく見守ってくれている。そのお陰もあって、私達は多忙な毎日の中で生徒達のために教材研究や行事に力を注ぐことができていた。私達の「働きがい」である生徒達の成長と私達の「使命」である生徒達の安全安心を一番に考え、教職員同士がさらに声を掛け合い、お互いの状況を察しつつ、管理職が中心となって協力していきたい。

来年度も、教職員一人一人の得意な部分＝強みを生かし、それぞれの足りない部分＝弱みをカバー

し合いながら取り組んでいきたいと考えている。また、悩みや不安を抱えた生徒、自分の思いをはっきりと伝えられずに我慢している生徒、消極的にしか物事に取り組めない生徒、複雑な課題をもつ生徒等に、丁寧に対応できる余裕と、外部機関との連携をさらに進めたい。

2.「本校の弱み」と、その「改善策」

普段から感じている課題と、調査結果から見てきた課題があるが、「意識を変えればすぐにできること」「少し工夫すればできること」もある。

①**確かな学力の育成**に関わって、は宿題や課題（家庭学習）と授業を有機的に結びつけ、学習意欲の向上や基礎基本の習得に効果的につなげることに今年度も課題がある。**課題の与え方を工夫すると、どの程度まで学習をするか、自分で判断して取り組むことができるようになるのではないかなと思う。例えば、すでに学習した「復習」を課題に出すのではなく、「予習」を課題に出す。**生徒は**与えられた課題の何がポイントとなるかを自分なりに考えるようになる。**ただ計算に取り組んだり、写したりするのでなく、知識として必ず押さえなければならない部分や、重要な部分を自分なりにまとめた上で、ある程度**見通しをもって授業に臨む**ため授業の内容が理解できて少なくとも**基礎基本は定着しやすくなる。**また、**個別最適な学びや自由進度学習へのきっかけにもなる。**学習に関して苦手意識を持っている生徒でも、すべての教科で予習をしてから授業に臨むことが当たり前になれば、よいサイクルが生まれるだろう。そのサイクルを学校が主導して定着させていくことが望ましい。課題に取り組むことができればそのこと自体が生徒にとっての課題なので、学級担任を中心に家庭と連携して学習に取り組む習慣を身に付ける指導につなげていく。小学校時代に家庭学習の習慣が身についていない生徒も多いので、**小中連携も視野に入れる**必要があり、**小学校時からの家庭の協力が必須**でもある。

②**スマホやゲームなどの使用時間過多**については、**保護者に対する啓発活動**を行う。例えば授業参観の日に親子学習会と銘打って講演会の実施をしてはどうだろうか。授業も見たいということであればその日を学校開放日にして、午前中は自由に出入りし、都合のいい時間に来校して授業を見てもらえるようにする（名札を下げ、退校時に返却するなどの工夫も必要かもしれない。）午後に学習会と部会を行うこととして、**保護者に危機感を持ったうえで対処の仕方を学んでもらう。**

③**説明や話を自分ごととして聞けない生徒が多い**ことも課題である。説明した直後に「何するの」という声があがることもある。例えば道德の時間に「ソーシャルスキルトレーニング」等を取り入れて、「聞く力」を強化することもできるかもしれない。その前にまずは「**聞く**」習慣をつけさせたい。それには、ある程度**待つ覚悟**も必要になる。静かにならなければ話さない。「**つまり何なのか**」を常に意識して**聞く訓練**をする。朝の会や帰りの会で、授業で、集会で、委員会や部活動の連絡で、私たちが意識と覚悟をして取り組みたい基礎基本でもある。

④**指示待ち生徒が多い**のも本校の課題である。「強み」の方に「教師の指示が通りやすい」とあるが、**指示がないと動けない。**ややもするとその**指示の意義（行動の意味）を理解しないまま**なこともある。**自分たちで活動を仕組む力が弱い。**やはりそれには**リーダーの育成**が必要だろう。ある程度の見通しを持たせつつ任せてみる。声を出せるように支えてやること。うまくいかなくても、あきらめることなく改善策を立てさせること、その上で成功体験をさせること。行事などをうまく使って、リーダーの力を伸ばしていきたい。

⑤**あいさつの励行**については、まずは**教職員同士のあいさつ**を振り返ってみたい。相手の目を見てあいさつできているか。意味を持ってあいさつの言葉を発しているか。温かみのあるあいさつができているか。『おはようございます』『お先に失礼します』などと言えてはいるが、生徒に『気持ちを入れてあいさつをしよう』と言っている割には自分たち自身がそこまでできていないことが多いと感じる。**まずは私たちから変えていくことが必要**だろう。

⑥**教職員の学び合い（自分の考えや意見を受け入れてもらえる余裕と安心感）**について。20分～25分程度の日課表の見直し案を試行して、何が可能で、どうすべきか、工夫できることはないかを洗い出す。そのようにして、**学び合いの「気持ちの余裕」を生み出す。**「学び合い」といってもかしこまらず、情報交換をしたり、相談し合ったり、助け合ったり、誰とでも気軽に話ができて、自然と学んでいけるような雰囲気が良い。考えが違っても飲み込んだり、言ってもわかってもらえないとあきらめたり、考えを口にするのと否定されると萎縮したりせずに、自分の考えや思いを言葉にして伝え合える環境をつくることで、より良く変えていける効果を大事にしたい。

⑦**人手不足による事務負担**の課題は、**実技教科の期末テストについて、実施時間と問題数を削減**することも可能である。例えば時間と問題数を現行の半分にして各教科50点満点で運用するなどの工夫をしたり、デジタル採点ツールや簡易版CBT（Form等）の導入も考えられたりする。**他にも固定観念にとらわれず、試行錯誤しながら工夫していきたい。試してみて、うまくいかないことがあるかもしれないが、そこから得るものがあり、見方が変わることが多い。皆で知恵を出し合い、変えられるところを変えていく努力が必要**である。

3. 来年度の重点項目について(案)

①学力向上・学習習慣の定着への取り組み

- ・**学習内容の質の向上**：授業の中で、できないことができるように、わからないことがわかるようになるために、何をどう学べばよいのかを確認させる。疑問がもて、気づきのある授業づくり＝「あれ?」「もしかして?」を意識させる。それと同時に、納得する＝「なるほど」「そうだったのか」という実感を持たせる授業づくりをする)
- ・**学習習慣・家庭学習の定着**：自分自身のための家庭学習を行う必要があることを理解させ、基本的に「予習」を中心とした課題を与える。ポイントをおさえ、見通しを持って授業に臨めるように課題を与える。
- ・**学力格差の是正《具体的数値目標》**
「宿題の他にも家庭学習（塾や家庭教師は除く）をしていますか。」
(よくしている・しているの回答)
生徒：R5＝58.5 ⇒ R6＝54.3% ⇒ **R7＝65%**

②生徒指導の充実

- ・**自治的活動の充実とリーダーの育成**：教職員が主導しつつも、企画・運営に関わる工夫をさせることで充実感や達成感を持たせたり、委員会活動・部活動も従前の方法ばかりでなくアイデアを出させ、よりよくする工夫をさせたりして、生徒を認めることで成長を促す。またそのために、教職員が支えつつ、出せるリーダーの育成を図る。(うまくいかなくてもあきらめさせない。)
- ・**学級経営の充実**：学級経営や生徒指導を、気兼ねなく学び合う機会を持つ。学級経営がすべての基盤となることを常に念頭に置き、日々の積み重ねを大切にしながら、丁寧な学級づくりに取り組む。
- ・**特別支援教育の充実と不登校生徒への対応**：一人一人の生徒の状況に応じて、得意なことや苦手なことを丁寧に見取ったうえで理解して対応する。情報交換を今以上に密にし、外部機関との連携もさらに強める。
- ・**保護者や地域と願いを共有し、連携を図る**：地域に根ざした学校として何ができるかを積極的に発信していくと同時に、地域の力を借りて生徒を成長させていく方法を模索する。

令和6年度 学校評価 教職員自己評価 回答結果

	確かな学力の育成		豊かな心の育成						たくましい体の育成			生徒指導の充実と生徒の居場所づくり						安心・安全		保護者・地域・隣接する学校との連携				資質・能力の向上			
設 問	① やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくり	② 系統的な教育課程の実施と評価・授業改善に努めている。	③ 道徳の時間を軸として、豊かな人間性を育むことに努めている。	④ キャリア教育の推進に努め、社会的・職業的に自立するための資質や能力の基盤を培うよう努めている。	⑤ 合唱への取り組みを継承・発展させようと努めている。	⑥ 委員会活動・係活動・当番活動を充実させ、自己有用感を育むよう努めている。	⑦ コミュニケーションの基本である「あいさつ」を大切にするとともに、さらに魅力ある学校づくりを目指すよう努めている。	⑧ 情報モラル教育をすすめる、インターネット上のトラブル回避ができる力を身につけさせようと努めている。	⑨ 規則正しい生活習慣の確立と健康を自ら管理する力を身につけさせるよう努めている。	⑩ 運動やスポーツを推進し、自他の存在の意義、体力の向上を図るよう努めている。	⑪ 保健・衛生・健康管理に関わる意識の向上を図るよう努めている。（コロナ・インフルエンザ対策など）	⑫ 生徒指導を充実させ、自らの意思で判断し、責任を持つて行動できる力を身につけさせようと努めている。	⑬ すべての教育活動を通して、生徒の規範意識の向上を図ろうと努めている。	⑭ 集団生活の安心や安全を脅かす行為やいじめに對しては、毅然とした態度で指導している。	⑮ スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、多面的・多角的な指導の充実を図ろうと努めている。	⑯ 朝の会、帰りの会、清掃、給食などで師弟同行を徹底し、生徒理解に努めている。	⑰ 集団で生活することで身に付くことを考えさせ、「人間（品性）教育」を重視するために、品格・教養・礼節を意識させようと努めている。	⑱ 施設・設備の安全確保、交通安全や防災への指導に努めている。	⑲ 自助・共助の実践力を身につけられるように努めている。	⑳ 教育活動について各種通信やホームページなどで情報発信を積極的に行うように努めている。	㉑ 地域と学校との交流を深めようと努めている。	㉒ 学区内小学校や上野原高校との連携を図ろうと努めている。	㉓ 教職員としての資質・能力の向上のために、学ぶ姿勢を持ち続けようとしている。	㉔ 教育公務員としての自覚を持った行動（服務規律や時間を守る意識など）を心がけている。	㉕ ICT機器を有効に活用した授業づくり及び生徒のICT活用能力の向上を図っている。	㉖ 日々の業務の中で、お互いに学び合う意識を持って、アドバイスを受け入れ再考する柔軟さ）	
	令和6年度	3.3	3.1	3.0	3.1	3.0	3.1	3.1	3.0	2.9	3.3	3.0	3.1	3.4	3.4	3.3	2.8	3.6	3.0	3.2	3.1	2.6	3.4	3.5	3.3	2.8	
令和5年度	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	3.1	3.0		3.0	2.9	3.4	3.2	3.3	3.4	3.6	3.3		3.5	3.2	3.5	3.1	3.0	3.4	3.7	3.6		

令和6年度 学校評価参考資料（生徒の生活に関するアンケート：11月実施）回答集計

R6回答数：153 R5回答数：166

1 あなたは学校生活が楽しいですか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても楽しい	153	66	43.1	37.7	88.9	88.9	0
B楽しい		70	45.8	51.2			
Cあまり楽しくない		12	7.8	8.6	11.1	11.1	0
D楽しくない		5	3.3	2.5			

2 クラスや学年に、仲の良い友達がありますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aたくさんいる	153	73	47.7	43.3	95.4	95.7	-0.3
Bいる		73	47.7	52.4			
Cあまりいない		6	3.9	3.7	4.6	4.3	0.3
Dいない		1	0.7	0.6			

3 困ったときに相談できる友達がありますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aたくさんいる	152	45	29.6	20.6	87.5	83.6	3.9
Bいる		88	57.9	63			
Cあまりいない		11	7.2	13.9	12.5	16.3	-3.8
Dいない		8	5.3	2.4			

4 自分のクラスを良いクラスだと思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	152	74	48.7	45.8	92.8	84.4	8.4
B思う		67	44.1	38.6			
Cあまり思わない		8	5.3	12	7.3	15.6	-8.3
D思わない		3	2	3.6			

5 学校の授業は楽しいですか。また、学校の授業はわかりますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても楽しい・とてもわかる	153	40	26.1	21.2	86.2	90.3	-4.1
B楽しい・わかる		92	60.1	69.1			
Cあまり楽しくない・あまりわからない		18	11.8	9.1	13.8	9.7	4.1
D楽しくない・わからない		3	2	0.6			

6 先生はわかりやすく勉強を教えてくださいますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとてもわかりやすく教えてくれる	152	55	36.2	42.4	91.5	96.9	-5.4
Bわかりやすく教えてくれる		84	55.3	54.5			
Cあまりわかりやすく教えてくれない		9	5.9	3	8.5	3	5.5
Dわかりにくい		4	2.6	0			

7 困ったときに相談できる先生がいますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aたくさんいる	152	21	13.8	15.7	64.5	65.7	-1.2
Bいる		77	50.7	50			
Cあまりいない		41	27	23.5	35.6	34.3	1.3
Dいない		13	8.6	10.8			

8 授業（勉強）でわからないことがあるときは、先生に聞いていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよく聞いている	153	36	23.5	20.6	67.3	66.7	-0.6
B聞いている		67	43.8	46.1			
Cあまり聞いていない		44	28.8	29.1	32.7	33.3	0.6
D聞いていない		6	3.9	4.2			

9 授業中に発言や発表をしますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよくする	152	41	27	13.3	68.4	47	21.4
Bする		63	41.4	33.7			
Cあまりしない		35	23	44	31.6	53	-21.4
Dしない		13	8.6	9			

10 忘れずに宿題（課題）をしていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよくしている	153	56	36.6	44	89.5	89.8	-0.3
Bしている		81	52.9	45.8			
Cあまりしていない		11	7.2	7.8	10.5	10.2	0.3
Dしていない		5	3.3	2.4			

11 宿題（課題）の他にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）をしていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよくしている	151	20	13.2	19.3	54.3	58.5	-4.2
Bしている		62	41.1	39.2			
Cあまりしていない		52	34.4	34.9	45.7	41.5	4.2
Dしていない		17	11.3	6.6			

12 授業などの学習場面で、ICT機器を有効活用していると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
A有効活用している	153	44	28.8	26.2	77.2	81.7	-4.5
B活用している		74	48.4	55.5			
Cあまり活用していない		26	17	15.9	22.9	18.3	4.6
D活用していない		9	5.9	2.4			

13 自分や家族、友達の健康管理に気を配っていますか。（コロナインフルエンザ対策など）

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよく配っている	152	79	52	47.6	92.8	92.2	0.6
B配っている		62	40.8	44.6			
Cあまり配っていない		9	5.9	6.6	7.2	7.8	-0.6
D配っていない		2	1.3	1.2			

14 携帯やスマホ、メールやSNS、ゲーム、動画視聴などをよくしていますか。（R6～動画視聴を追加）

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよくしている（ほぼ毎日1時間以上）	153	122	79.7	73.8	94.1	92.1	2
Bしている（ほぼ毎日1時間以下）		22	14.4	18.3			
C時々している		8	5.2	6.1	5.9	7.9	-2
Dしていない		1	0.7	1.8			

15 家の人と学校での様子を話しますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよくしている	153	68	44.4	43	83	78.8	4.2
Bしている		59	38.6	35.8			
Cあまりしていない		20	13.1	17	17	21.2	-4.2
Dしていない		6	3.9	4.2			

16 自分の生活をより良くしようと、自分で考え、自分で行動していますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよく行動している	153	47	30.7	33.7	81.7	89.7	-8
Bだいたい行動している		78	51	56			
Cあまり行動していない		24	15.7	7.8	18.3	10.2	8.1
D行動していない		4	2.6	2.4			

17 地域の人や学校に来たお客さんに対して自分からあいさつしていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよくしている	151	82	54.3	55.2	92.7	91.6	1.1
Bしている		58	38.4	36.4			
Cあまりしていない		8	5.3	7.9	7.3	8.5	-1.2
Dしていない		3	2	0.6			

18 学校のきまりや約束ごとをしっかりと守っていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aしっかりと守っている	153	79	51.6	59.6	98	98.8	-0.8
B守っている		71	46.4	39.2			
Cあまり守っていない		2	1.3	1.2	2	1.2	0.8
D守っていない		1	0.7	0			

19 学校での清掃活動を丁寧にしていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
A丁寧にできている	153	79	51.6	54.2	94.1	97	-2.9
Bできている		65	42.5	42.8			
Cあまりできていない		5	3.3	2.4	5.9	3	2.9
Dできていない		4	2.6	0.6			

20 自主的に朝読書に取り組んでいますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
A自主的に取り組んでいる	153	67	43.8	53	82.4	94	-11.6
B取り組んでいる		59	38.6	41			
Cあまり取り組んでいない		21	13.7	6	17.6	6	11.6
D取り組んでいない		6	3.9	0			

21 委員会活動に積極的に取り組んでいますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aしっかりと取り組んでいる	153	79	51.6	57.8	89.5	97	-7.5
B取り組んでいる		58	37.9	39.2			
Cあまり取り組んでいない		14	9.2	3	10.5	3	7.5
D取り組んでいない		2	1.3	0			

22 部活動に積極的に参加していますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても積極的に参加している	153	78	51	45.9	85.6	79.9	5.7
B積極的に参加している		53	34.6	34			
Cあまり積極的に参加していない		5	3.3	6.3	5.2	6.9	-1.6

D全然積極的に参加していない		3	2	0.6	3.3	0.9	-1.0
E入部していない		14	9.2	13.2	13.2	7.1	6.1

令和6年度 学校評価参考資料（保護者アンケート：12月実施）回答集計

R6回答数：97 R5回答数：96

1 お子さんにとって、学校は楽しいところだと思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	97	24	24.7	29.2	84.5	85.5	-1
B思う		58	59.8	56.3			
Cあまり思わない		9	9.3	13.5	15.5	14.5	1
D思わない		6	6.2	1			

2 学校は、子どもたちの学校での様子を積極的に保護者に知らせていると思いますか。（各種たよりやHPなど）

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	97	6	6.2	18.8	80.4	84.4	-4
B思う		72	74.2	65.6			
Cあまり思わない		16	16.5	13.5	19.6	15.6	4
D思わない		3	3.1	2.1			

3 学校は、よりよ学校教育を目指して改善していこうとしていると思いますか。（混合名簿・制服の取組含む）

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	96	10	10.4	15.8	82.3	82.1	0.2
B思う		69	71.9	66.3			
Cあまり思わない		14	14.6	16.8	17.7	17.9	-0.2
D思わない		3	3.1	1.1			

4 お子さんは、学校のきまりを守っていると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	97	27	27.8	36.5	93.8	93.8	0
B思う		64	66	57.3			
Cあまり思わない		6	6.2	6.3	6.2	6.3	-0.1
D思わない		0	0	0			

5 学校は、子どもたちの間違った行動などに対して、適切な指導をしていると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	97	7	7.2	12.6	76.3	73.7	2.6
B思う		67	69.1	61.1			
Cあまり思わない		19	19.6	23.2	23.7	26.4	-2.7
D思わない		4	4.1	3.2			

6 お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	97	8	8.2	9.6	59.7	76.6	-16.9
B思う		50	51.5	67			
Cあまり思わない		34	35.1	22.3	40.3	23.4	16.9
D思わない		5	5.2	1.1			

7 学校は、子どもたちの学力向上のために努力していると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	96	7	7.3	12.5	68.8	76	-7.2
B思う		59	61.5	63.5			
Cあまり思わない		24	25	24	31.3	24	7.3
D思わない		6	6.3	0			

8 学校は、防犯・防災等の安全確保に努めていると思いますか。（通学路安全点検やメール配信を利用して）

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	96	12	12.5	20	83.3	83.2	0.1
B思う		68	70.8	63.2			
Cあまり思わない		12	12.5	16.8	16.7	16.8	-0.1
D思わない		4	4.2	0			

9 学校は、子どもたちの保健・衛生・健康管理に努めていると思いますか。（コロナ・インフルエンザ対策など）

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	97	10	10.3	20.8	85.6	88.5	-2.9
B思う		73	75.3	67.7			
Cあまり思わない		14	14.4	10.4	14.4	11.4	3
D思わない		0	0	1			

10 学校は、ICT機器の活用及び子どもたちのICT活用能力の向上に努めていると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	96	7	7.3	15.6	84.4	78.1	6.3
B思う		74	77.1	62.5			
Cあまり思わない		13	13.5	20.8	15.6	21.8	-6.2
D思わない		2	2.1	1			

11 お子さんのことで相談できる先生がいますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
A何人かいる	97	12	12.4	17	74.3	80.8	-6.5
Bいる		60	61.9	63.8			
Cいない		25	25.8	19.1	25.8	19.1	6.7

12 ご家庭では、お子さんのしつけに力を入れていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても入れている	97	2	2.1	6.3	82.5	84.2	-1.7
B入れている		78	80.4	77.9			
Cあまり入っていない		15	15.5	13.7	17.6	15.8	1.8
D入っていない		2	2.1	2.1			

13 お子さんは、朝食を食べて登校していますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aいつも食べている	97	73	75.3	75.8	92.8	92.6	0.2
Bだいたい食べている		17	17.5	16.8			
Cあまり食べていない		5	5.2	6.3	7.2	7.4	-0.1

D食べていない		2	2.1	1.1	1.0	1.4	-0.1
---------	--	---	-----	-----	-----	-----	------

14 お子さんは、宿題（課題）を忘れずにしていると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aいつもしていると思う	97	37	38.1	41.7	87.6	86.5	1.1
Bだいたいしていると思う		48	49.5	44.8			
Cあまりしていないと思う		8	8.2	10.4	12.3	13.5	-1.2
Dしていないと思う		4	4.1	3.1			

15 お子さんは、宿題の他にも家庭学習（塾や家庭教師は除く）をしていると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aいつもしていると思う	96	11	11.5	15.6	39.6	38.5	1.1
Bだいたいしていると思う		27	28.1	22.9			
Cあまりしていないと思う		43	44.8	47.9	60.4	61.4	-1
Dしていないと思う		15	15.6	13.5			

16 お子さんは、家庭で、携帯やスマホ、メールやSNS、ゲーム、動画視聴などをよくしていますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aよくしている（ほぼ毎日1時間以上）	96	80	83.3	74.5	98.9	89.4	9.5
Bしている（ほぼ毎日1時間以下）		15	15.6	14.9			
C時々している		1	1	8.5	1	10.6	-9.4
Dしていない		0	0	2.1			

17 お子さんは、困ったことがあった時に、相談できる友達がいると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aたくさんいると思う	97	8	8.2	8.3	83.5	75	8.5
Bいると思う		73	75.3	66.7			
Cあまりいないと思う		12	12.4	21.9	16.5	25	-8.5
Dいないと思う		4	4.1	3.1			

18 お子さんは家庭や地域で挨拶をしっかりしていると思いますか。

	回答総数	R6年度数	R6年度%	R5年度%	R6年度%	R5年度%	増減
Aとても思う	97	23	23.7	20	92.8	87.4	5.4
B思う		67	69.1	67.4			
Cあまりしていないと思う		7	7.2	10.5	7.2	12.6	-5.4
Dしていないと思う		0	0	2.1			